

10年以上居住者ワークショップ

① プログラム

時間進行	当日の流れ
9:30~9:55	開会、オリエンテーション
9:55~13:00	ワークショップ 2都心4副都心について ① 2都心4副都心の魅力や課題 ② 魅力や課題から、各拠点のまちづくりにおいて重視すべきテーマ・取組
13:00~13:45	発表
13:45~15:40	ワークショップ 今後重点的（優先的）に取り組むべきことについて ① さいたま市の魅力や課題 ② 今後10年で重点的（優先的）に取り組むべきこと
15:40~16:35	発表、閉会

② ワークショップのグループ分け

前半のワークショップでは、お住まいに近い2都心4副都心地域ごとに分かれ話し合いを行いました。なお、2都心4副都心とは、「大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区」、「浦和駅周辺地区」の2つの都心地区と「日進・宮原地区」、「武蔵浦和地区」、「美園地区」「岩槻駅周辺地区」の4つの副都心地区のことを表します。

後半のワークショップでは、お住まいの区等のバランスを考慮してグループ分けを行いました。

③ グループワークの結果（2都心4副都心について）

《日進・宮原地区①》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 国道 16 号線・複数駅の存在による交通利便性 • 商業の中心性 • 低利用地の存在、開発の余地あり • 歴史遺産の存在 • 恵まれた自然環境 • 閑静な住宅環境 • 保育所等、子どもの預かり施設が多い 	<ul style="list-style-type: none"> • 駅までのアクセス性の悪さ • 狭い道路・新幹線の高架下等の安全面の課題 • 医療施設の少なさ • 魅力の中途半端さ、分かりにくさ • 住民同士の交流の少なさ • ごみ捨てルールが守られていない • 空家が目立つ • 町内会の高齢化 • 防災（水害）・防犯体制に不安
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> • 都会の喧騒を忘れられるまち • 自然環境を残す • 道路交通網の整備 • 地域の繋がり • 賑わいのある商店街 • 子育てしやすいまち • 10 区の特徴の打ち出し 	
取組みアイデア	
<ul style="list-style-type: none"> • 新幹線高架下の開発、公共交通網の整備 • 自転車の街（拠点にレンタサイクル整備） • 自転車・人専用の道路づくり • 地域活動の活性化 • 電車の時間に合わせた市営バスの運行 • 車がスピードを出せない道路づくり・街づくり • 人通りのしやすい商店街づくり • 公園や自然を残し、子どもが安全に楽しく遊べる場所を作っていく • 自分の家の前の道路に花を植える（月に 1 回日を決めて） 	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の建設 or 副都心周辺の学区見直し
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> ・ ずっと住み続けたいと思える街 ・ きずなが強く自然とふれあえて住みやすい地区 ・ 自然よく移動しやすい誰もが住みやすい街 ・ ヌウを生かした高齢化活動 ・ 自然が身近であったか、安心！なまち作り ・ 恵まれた自然環境の中で、人と人とのつながりを大切に生きる ・ 周辺3駅を中心に利用してもらうために連携を取り図書館や公民館を用いて全世代でつながりを持ち、未来を作る子どもたちの成長を支援する ・ 一体的な都市基盤の整備とあわせ、地域のつながりを重視した生活利便性の高い副都心

《日進・宮原地区②》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通機関の充実 ・ ショッピングモールの充実 ・ 自転車圏内にいろいろな施設があり便利 ・ 日進駅宮原駅の開発が進む ・ 鉄道博物館が近くにある ・ 地域を代表するイベントがある ・ 災害が少ない ・ 適度に田舎、適度に緑があり住みやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通渋滞 ・ 道路が狭く一方通行で危険、ストレスを感じる ・ 駐車場、公衆トイレが少ない ・ 駅前の空きテナント ・ 車がないと生活できない ・ 商店街の活気が年々なくなっている
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 都会の喧騒を忘れられるまち ・ 自然環境を残す ・ 花と緑のフラワーロード ・ あらゆる世代が暮らしやすい落ち着きのある住宅地区 ・ 公園が多い住みやすい街 	

- 高齢者が安全で健康に暮らせること
- 子育て世代への支援、子どもが外で遊べる様に
- 自転車の乗り方を正しく
- 災害に強い街づくり
- 見えないところがすごい街！質実剛健な街

取組みアイデア

- 新幹線高架下の開発
- 公共交通網の整備
- 自転車の街（拠点にレンタサイクル整備）
- 自転車・人専用の道路づくり
- 電車の時間に合わせた市営バスの運行
- 車がスピードを出せない道路づくり・街づくり
- 高齢者が都心に行きやすい交通（自転車道の整備）
- 地域活動の活性化

キャッチフレーズ

- にぎやかさとふるさとの融合した住みやすい文化地区
- 暮らしやすさ No.1 地区
- バランス良好地区
- ゆる都心（緩都心）地区
- コンビニエンス地区
- 便利で住みやすい生活環境の整った文化地区
- 商業施設と緑が融合しにぎやかさと落ちつきのある住宅地区
- 無事故、無災害の住み良い街
- 古い文化（盆栽）と緑に恵まれた新しい文化（鉄博）が息づく住みやすい街
- 生活するのに多くの魅力を持つ街
- 生活しやすい街

《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区①》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 交通の利便性（市外に出やすい、ベッドタウン） • 商業圏の近さ・便利さ（商業施設・飲食店の集約性・利便性） • 人の往来が多い • 職住近接 • 氷川神社・大宮公園・スーパーアリーナ・盆栽・電車・独特な博物館などの観光資源 • 水と緑に恵まれている • 平らで歩きやすい • 安全（山ない・海ない） • 学校・閑静な住宅地の存在など住環境の良さ 	<ul style="list-style-type: none"> • 市内東西公共交通網の不足、海外に出にくい、駅周辺の道路混雑、老朽化東口が開発途上 • 長期滞在用の施設が少ない • 住民のための商店街がない • コミュニティ機会・スペースが少ない • 地域の魅力発信力の不足 • 文学・芸術・文化啓発の場が少ない、スポーツ施設が少ない • 学校行事に活気がない • 治安の悪さ、交通安全性の低さ、防災拠点施設の収容力不足 • 人口減少・高齢化
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> • 交通利便性（道路）の強化 • 企業誘致、企業家育成 • 立ち寄りから滞在へ • 防災機能の強化 • 市民だけでなく周辺地域から、自己啓発・交流を求めて集まる施設・ソフトづくり • 大人が参加できるコミュニティ • 人と人との交流 • 大宮駅を中心として都心機能を備えた統合開発 • 「住みたい街」1位を目指す • 大宮の文化・スポーツ • 安心して暮らせる街 	
取組みアイデア	
<ul style="list-style-type: none"> • 道路を太く、環状道路の建設 	

- コミュニティバスの運行・増便
- 各種法人・企業・団体の誘致
- 創業支援、商業集積、サテライトオフィス
- 発信・アピール（NHK 朝ドラ活用）
- 予算増・外貨獲得
- イベントホール・ホテル増設
- ボランティア・趣味のサークルなど地域コミュニティづくり
- 市政ボランティア、市政アドバイザーの増員新設
- 大宮を愛せるような仕組みづくり
- 海外観光客対応、観光周遊ルートづくり
- 芸術・文化の同好会・研究会など啓発のチャンスづくりと支援
- 軸を中心に公園・店舗をまとめる
- フリースペースの創設、コミュニケーションをとれる居場所づくり

キャッチフレーズ

- 国際都市
- サテライトオフィスの街
- 働いて遊ぶ街
- 起業、創業支援の街
- 人と人が交わりスポーツ・健康先進地区を目指す大宮・新都心
- おもてなし大宮
- 2020年オリンピック開催に向けて、住んでいる人達はもとより海外から来られた方にも魅力ある町作りする
- 大宮の良い所をもっとアピールして地域社会「もてなす」心構えが必要になってくる
- 住みやすい「愛せる町」作り
- 訪れる人も働いている人も住んでいる人も発展していく国際都市
- 駅中心に大充実 みんなが訪ねたいずっと住みたいところ
- 訪れる人にも 働いている人にも 住んでいる人にも 優しい街 大宮・新都心
- 自分らしさが表現できるショッピング・スポーツ・芸術ができる
- 経済・文化教育・スポーツで市内外に発信アピールできる
- 誰もが自己啓発でき、お互いが交流でき楽しく生活できる

- ・ ★財政豊かな地区
- ・ みんなが集まり発展していく街

《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区②》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京に近い ・ 交通の利便性 ・ 都心に出やすい ・ 東北圏・北陸圏・北海道を連絡する首都圏対流拠点である ・ 住みやすい ・ 市街地が河川と緑地に挟まれた都市空間を形成している ・ 治安が良い ・ 公園が多い ・ 災害が少ない、災害に強い ・ 住民格差が少ない住みやすい街 ・ 他に類をみない盆栽村・氷川神社などがある ・ 観光地以外のほとんどが揃う ・ コンベンション・イベント誘致に必要な施設がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅東口のドラスティックな再開発 ・ JR 東武鉄道との話し合い・連携強化 ・ 防災関係へのイベント・防災訓練への積極的誘導 ・ 災害への意識が薄い ・ 公立中学の部活動 ・ 自治会活動を活発化し、コミュニティの底上げを図る ・ 高齢者の有効活用 ・ 市民行事等の積極的な PR、住民への通知 ・ 観光 ・ 「大宮といえば」というのが少ない
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域の魅力を繋ぐ 	
取組みアイデア	
<ul style="list-style-type: none"> ・ バスツアー ・ サイクリングコース ・ 道路の整備 ・ シンボル 	
キャッチフレーズ	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力をつなぎ発信する地区 	

《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区③》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 教育水準が高い • 勉強しやすい環境 • 交通の便が良い • 商業施設・公共施設が充実しており賑わいがある • 買い物が楽しい • 氷川神社のお祭り • 大宮公園の桜、小動物園、ケヤキ広場等の憩いの場所 • スーパーアリーナ等の集客施設におけるイベントが盛ん • 災害が少ない • 保育園が多い 	<ul style="list-style-type: none"> • 大宮駅の混雑・駅周辺の渋滞 • 繁華街の治安の悪さ • 観光客が少ない • 安全性と清潔感のあるまちづくり • 昔ながらの商店の衰退 • イベントなど国際交流機会の創出 • 気軽に利用できるスポーツ施設の少なさ
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> • 清潔できれいな街 • 観光やビジネスに対するサービスの充実（宿泊施設等） • 交通環境の整備 • 通過するだけでなく、滞在できるまち • 気軽に寄ることのできるまち • 訪問する目的のあるまちづくり • 歴史・文化の継続、維持 • さらなる賑わい、観光資源づくり • 中央公園の整備 • 動物を飼うマナー • 災害時の対応 	
取組みアイデア	
<ul style="list-style-type: none"> • バスの本数を増やす • ホテルや商業施設の誘致 • 狭い道でも安心して通れるように整備する 	

<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアガイドの育成 ・ 歴史講座の周知 ・ 北与野駅や与野本町駅の再開発 ・ 住民同士の顔の見えるつながりをつくる ・ 歴史・自然を市外の人へ周知する ・ 誰でも参加できるフェスやイベントの企画 ・ SNS等を利用し、施設等の周知を行う ・ 犬関税（罰金？）を徴収したら ・ 交通ルール教室を開く
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> ・ まだまだ伸びるよ 魅力のあるまち ちょこっと“行こっかな”中央区 ・ 住む人、来る人みんなが快適 ・ 浦和、大宮の奥座敷 便利で静か ・ まだまだ伸びしろがあるぞ！！ ・ 人にやさしく、楽しくすごせる街 ・ 人が集まるにぎわいのある地区

《浦和駅周辺地区①》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便が良い ・ 商業施設が充実 ・ 買い物の利便性 ・ 名店、名産がある ・ 自然が多い ・ 調神社等の歴史 ・ 文教都市 ・ 食文化 ・ 街並みが美しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浦和駅までのアクセス改善 ・ 道路渋滞 ・ 個人商店の閉鎖 ・ 商店街の活性化 ・ まちとしての特色が薄れている ・ 住民同士の交流
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て高齢者対策 ・ 賑わいのあるまちづくり 	

<ul style="list-style-type: none"> • 文教中心の街づくり • 持続可能なまちづくり
取組みアイデア
<ul style="list-style-type: none"> • 自治会の活用 • シルバー人材の活用 • 保育園とデイサービススペースの共同運営 • 市の施設を使いやすく • 公共施設を使ったイベント • メディア媒体でのPR、情報発信の強化 • 民間の活用 • 学校施設、学生の活用
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> • “文化・伝統・教育・環境”を生かしたにぎわいのある地区 <p>～ ㊦なぎが美味 通勤が㊦く ㊦くわくするまち ～</p>

《浦和駅周辺地区②》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 閑静な住空間 • 駅に近く住みやすい • 調神社（お祭り等） • 文教地区として質の高い教育 • 図書館、宇宙科学館等の施設 	<ul style="list-style-type: none"> • 主要機関を結ぶバスがない • 子どもたちの遊ぶ場所 • スポーツの街だが、施設の開放性が悪い（利用できない） • 防災に不安 • 避難所の案内が少ない • 新旧住民の交流
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> • 文教都市の基盤強化 • 世代を超えて心の健康を守るまち • 災害に強いまちづくり 	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 住みやすく働きやすいまち ・ 市民の交流 ・ 余暇を楽しめる街 ・ 歴史とともに理解し大切にす町 ・ 子育てに魅力あるまち ・ 市民、外部の人が浦和を好きになる
取組みアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブ活動、NPO 活動支援 ・ スポーツ文化のアピール強化 ・ 朝市やフリーマーケット ・ 学校の施設開放
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 古くからの歴史伝統を共有し、新しい文化・情報を発信する地区

《武蔵浦和地区》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい都市のイメージ ・ 活気がある ・ 駅周辺の商業施設が充実 ・ 緑と歴史の存在 ・ 交通の便がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特色が少ない ・ 大型店舗が多い ・ 地元商店街がない ・ 近所のコミュニティがない ・ 線路下が暗い ・ 公園が少ない
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な市民参加型イベント ・ 市内のコンパクトシティのモデル ・ 交通の便をよくする ・ 清潔感のあるまち ・ 公園、道路の整備 ・ 安全な街 ・ 防災 	

取組みアイデア
<ul style="list-style-type: none"> • 人が集まる場をたくさん作る • 祭りなどのイベントを企画 • 大きなショッピングセンター誘致 • 保育園の増加
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> • 人々が交流する 緑ゆたかな 可能性

《美園地区》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 豊かな自然 • 新しい街としての可能性 • 計画的な街づくりができる • サッカー施設の誘客 • 新しい公共施設がある • 車のアクセスが良い（高速の入り口） • 若い家族が多い • 商業施設が充実 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然の喪失 • 緑や文化財の活用 • 学校が不足している • 子どもが遊べる場所が少ない • 公共交通機関が発展途上 • 美園らしさの喪失 • 災害時に機能するか • コミュニティの力 • 働く場が少ない
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> • 自然環境を守っていく • スポーツ、自然を通じ子どもたちの感性を磨く • ソフト面を生かした魅力づくり • 子育てによいまち • 若い世代の活用（情報発信力等） • 少子高齢化を生かした地域での子育て • 近未来と懐かしさが融和した都市 	
取組みアイデア	
<ul style="list-style-type: none"> • 異文化コミュニケーションの場を増やす • 好きな美園スポットの募集 	

<ul style="list-style-type: none"> 子ども会のバックアップ 高齢の人もチャレンジする場づくり
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> 気軽に行けるスポーツ最前線地区 次世代と自然の融和する地区

《岩槻駅周辺地区》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> 歴史がある（名所、文化財） 人形工芸 緑が多い（公園含め） 農業が盛ん 市民参加の文化祭がある 駅周辺の街づくり 静かな住宅街 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率が高い 空き家が増えている 近所のコミュニティが少ない 公園が少ない 地元商店が少ない 特徴がない 観光振興が不十分 他地区へアクセスが悪い
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> 人口対策 高齢化対策 住みやすいまちづくり（交通、健康） 子育てしやすいまち 地場産業の活性化 駅周辺の商店街活性化 若い人が住みやすい街づくり 集客対策 人形以外のアピール 	
取組みアイデア	
<ul style="list-style-type: none"> 人形作りの体験 市民参加による観光資源のPR ボランティア活動を行った人に商店街で使えるポイント付与 空き家、空きスペースを活用したイベント 	

キャッチフレーズ

- エッグ ∞ シルバー 老若男女を問わず住みやすく安全なまち

④ グループワークの結果（今後重点的（優先的）に取り組むべきことについて）

《グループ 1》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 政令指定都市である • 市民の幸福度が高い • バリアフリー・ユニバーサルデザインの導入 • 交通機関の充実による都心・東京圏・東日本全体へのアクセス性の良さ・利便性 • 各区ごとの特色 • スポーツが盛ん • 公共施設（図書館・スポーツ施設等）の充実 • 地場産で美味しい物がある • 子育て支援の充実（医療費が中3まで無料） • 歴史や文化の集積（中山道関連） • 未だ伸び続ける 130 万人口による資金力・購買力・人材力 • 都市化が進む中でも緑化環境が良い • 地形が平ら、大きな災害が起きにくい • 資源別ごみ回収の普及 	<ul style="list-style-type: none"> • 市内間のアクセス（コミュニティバスによる交通ネットワークの従事充実） • 40～50 年代に建てられた公共施設の改修・更新に伴う費用 • 若者に文化や芸術が浸透していない • 行政都市機能と商業都市機能の強力な融合 • 街づくりへの民間活力の導入 • 高齢者のサポートが少ない、高齢化による医療費増加 • 自治会との連携、地域交流の強化 • さいたま市（各区）の魅力づくり、魅力発信（グローバルレベル）、ブランド強化 • 地場産のグルメ開催 • 待機児童数が多い • 財政状況（扶助費の増大による支出増への対策、企業誘致による収入増を図る）、住民に対する説明

	<ul style="list-style-type: none"> 外国人居住者の増加（町のルールが守られない）
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの改善 公共施設の統合・廃止、民間委託（指定管理）の検討 高齢者の健康維持・増進対策 地域コミュニティの強化 グローバルレベルでの魅力発掘・人材交流・姉妹都市・国際コンベンション さいたま市の魅力・アピールポイントの再定義 プロジェクションマッピング・YouTube・SNS等を用いた集客・PR(主に若者向け) さいたま市の活動のPR・広報 教育都市機能の強化による若者増加 特色を活かしたグルメ開発 空家の有効活用（民営保育園など） 子育て支援の充実 休耕田や農地の貸し出し（市民農園） 外国人観光客・住居者に親切なまちに（多言語化） 道路整備 	

《グループ2》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> 交通の利便性が良い 都内へ出やすい 交通の便が良い 東日本の交通の要衝 東北と東京のハブ 何でも手に入り、住んでいて便利な街 	<ul style="list-style-type: none"> 南北の交通網に比べて東西の交通網が脆弱 歩行分離ができていない（偏りがある） 車に乗れない高齢者が中心街に行く手段（自転車道の整備等） 中心地から離れた居住者の交通手段が少ない

<ul style="list-style-type: none"> • インバウンドをひきつける観光資源（盆栽村、岩槻人形、鉄博） • 文化歴史の街（氷川の杜、調神社、人形の町） • スポーツイベントが盛ん • 自然（田園）と都市（住居）、緑が多い • 災害が少ない • 教育水準が高い • 教育熱心（将来の夢や目標を持っている若者が多い） 	<ul style="list-style-type: none"> • 昔からの商店街に活気を取り戻すための努力 • インフラ投資に時間を要し、人口・文化がアンマッチング→コンパクトシティ • 次世代に継がせられる遺産（ハード・ソフト）を見出す、強化する • 地域の特徴が少ない（アピール不足？） • 観光 PR の方法、観光地が少ない？PR 不足？ • イベントの知名度 • 10 区が特色を出して、魅力あるもの（観光等）作り出してほしい • オリンピックに向けて（アリーナ以外に足を向けてもらうには） • 地域で住環境の格差 • 公園に偏りがある（駅周辺が少ない） • 税収確保 • 救急医療体制（2次、3次の整備） • 災害への意識が薄い（避難場所や備蓄等） • 地域交流・コミュニティ分野の改善
--	--

必要な取組み

<ul style="list-style-type: none"> • それぞれの地区をつなぐ交通整備（路線バス等） • コンパクトシティを念頭にした社会インフラの見直し・整備 • 外国人を主なターゲットとした観光資源の活用・イベント開催・PR の強化 • 公園の整備、待機児童対策等の子育て支援 • 高齢者が活躍できる場の確保
--

- ・ 防災拠点の強化、避難訓練

《グループ3》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新幹線や鉄道など交通網の発達による利便性 ・ 合同庁舎などの行政機能の集積 ・ 高層ビル群から田園風景までコンパクトに存在している ・ 大規模商業施設の集積 ・ まちの個性が少ない ・ 氷川神社など伝統的な神社・仏閣の存在 ・ 教育・文化・スポーツ活動が盛ん ・ 自転車に乗る人が多い（自転車イベントがある） ・ 観光資源に恵まれている（博物館・神社・人形・盆栽・公園・スポーツ施設） ・ 国際的な交流が多い ・ 人が多い割には治安が良い、災害が少ない ・ 保育園が多い ・ 図書館が多い ・ 教育水準が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横の交通網が貧弱（バスの本数が少ない） ・ 狭くて歩道のない道がたくさんある ・ 街としての厚みがない ・ 見沼たんぼの有効活用 ・ 各地域の中心地の開発と商店街の活性化 ・ 企業誘致 ・ 市の特色・象徴の少なさ、発信の不足 ・ 美術・芸術・音楽・文化・教養の充実 ・ 外国人の位置づけ（観光客 or 労働力） ・ 自転車事故の多さ ・ 少子化・高齢化社会への対応 ・ 公立小・中・高校の環境改善、部活動の取組 ・ 住民同士のコミュニケーションと交流促進
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内交通網の充実 ・ 自転車専用レーンの創設 ・ 北関東・東北・信越からの集客強化 	

- 企業誘致に向けた優遇策の検討（サテライトオフィス・生産拠点・流通網の創設など）
- 六次産業化の推進
- 市外への発信・集客に向け、市の象徴となるものを創る（サイクリングロードなど）
- 街の活性化に向けたイベント企画（スポーツ・祭り・若い世代の婚活イベントなど）
- SNS等を活用した情報発信（スポーツ・グルメなど）
- 大宮駅とさいたま新都心までの遊歩道の充実、街歩きの楽しみづくり
- 1泊2日など短期観光商品の開発
- 子育て支援、教育環境、学校施設の充実
- 住みよさの維持と多様化を受け入れる下地作り
- 自治会加入促進
- さいたま市10区全体に共通するつながりづくり
- 地域活動のモデル地区選定と指導

《グループ4》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 都心へのアクセス性が良い • 新幹線・鉄道などの交通利便性が良い • スポーツが盛ん • 国際的なイベントが多い • グルメが多い • 緑が多く、静かな住環境 • 開発の余地あり • 文化・歴史が豊かな文教都市 • 教育の質が高い • 商業施設の充実 • 行政の専門性 • 災害が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> • 市内道路交通網の整備 • 南北に比べて搭載の交通が不便 • 都市部と郊外部の差が大きい • さいたま市としてアピールできるブランドが少ない • 宿泊先が少ない、海外からの受け入れ態勢が不十分 • 市民参加型の活動強化（清掃活動・ボランティア） • 企業誘致（税収アップ政策として） • 施設での駐車スペースの少なさ • 人材を活かすネットワークづくり

<ul style="list-style-type: none"> 住民の所得格差が少ないのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 居場所づくり（子ども・ひきこもり・母親・高齢者） 横の連携 さいたま市 HP の改善 災害に強い都市へ（自治会・空き地の利用） 既存施設の活用が不十分 人口増に対する子育て支援 さいたま市独自の福祉施策
---	---

必要な取組み

<ul style="list-style-type: none"> 地域交通網の充実（生活道路の整備、地下鉄の誘致、市内循環モノレール） 国内・海外からの観光客誘致に向けた取組 市民の憩いの場づくり 文教都市として大学の誘致 子どもや老人に対する食育 心の教育、居場所づくり 駅周辺部の避難対策の強化、大きな公園での災害訓練の取組 福祉・子育て支援の充実 人材教育の充実 子育て支援を行政だけでなく住民同士で助け合える体制づくり 地区を超えた協働・協調体制の構築

《グループ 5》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> 東京・各都市へのアクセスがよい、鉄道・道路の交通利便性 東北圏・北陸圏・北海道を連絡する首都圏対流拠点 都市と田舎が共存している フラットな地形 	<ul style="list-style-type: none"> 大宮駅西口の交通対策、周辺地区の道路整備 自動車・自転車の線引き、自転車のマナー タクシーとバス・一般自動車の信頼関係

<ul style="list-style-type: none"> • 都心に近いが落ち着いている、自然も多い • 文化・スポーツのイベント多い (Jリーグ・ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム・さいたま国際マラソン・盆栽祭り etc) • 文化・コンベンション・イベント・スポーツ施設の充実(スーパーアリーナ・駒場・埼スタ・鉄道博物館) • 充実したショッピングセンターが多いので便利 • 伝統文化・食文化が多い • 歴史や文化等の地域資源の活用 • かかりつけ医が開催するイベント講座 • 英語教育「グローバルスタディ」の導入 • ごみの出し方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> • 財政改善のための市民負担の説明をし、納得してもらう • 区という枠が活かされていない • 大型商業施設など、人が多く集まる場所が中心部に集中している、都市と田舎の差、2都心4副都心へ集中しすぎ • 名産品・観光名所が知られていない(PR不足) • 市の施設の料金見直し • 子育て支援施設の拡大 • 人口に対しての医療体制 • 高齢者の有効活用及び健康促進 • 地域コミュニティの活性化(自治会へ若い人の加入・地元の方々と埼玉都民の交流一体化) • 防災対策 • 工業・農業の地元製品をもっとPRする「さいたま国際見本市」 • 文化・スポーツ施設を市民レベルでいかに利用していくか • スマホ利用方法のきまり
---	--

必要な取組み

<ul style="list-style-type: none"> • 健康促進のためのイベント開催 • 保育所の増設及び保育士の養成 • 高齢者の活用(子育て/介護事業、自治会活動等) • 企業オフィス、工場等の積極的誘致 • 空家を活用した集会所の増設 • 自転車ロードの整備・駐輪場の確保 • 市内道路交通網の整備(自動車・自転車) • さいたま市の名産品・名所・工業製品・農産物のPR • 子育て・医療体制の整備、少子化対策
--

- ジェネレーションギャップをなくしていく（市町内会活動の工夫・対策）
- 高齢化対策（介護設備の充実・健康対策）
- 外国人に日本のマナーを教える
- 地域道路の排水対策
- 防災施設の強化
- 埼玉での仕事づくり、地域での活動づくり

《グループ 6》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 交通網の発達 • 緑が多い • 自然災害が少ない • 学ぶ環境が整っている • 商業施設が充実 • 治安が良い • 家賃、駐車場代が安い • サッカーカラーの強さ • スーパーアリーナ、埼玉スタジアム • エリアごとにカラーがある • 歴史ある文化都市 	<ul style="list-style-type: none"> • 道路整備 • コミュニティをとりにくい • 防災 • 若い世代の都内への流出 • 夢を持つ子どもの減少 • 児童数の増加で一人当たり教育が手厚いとは言えない • 訪れたくなる町の価値が弱い • 街の開発コンセプトが弱い • 発信が足りない
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> • バリアフリー化 • 耐震対策 • もっと市民を使う • 歴史、伝統文化等の特色を維持する • 町の魅力の見える化 • SNS を利用 • 市内に PR 	

《グループ 7》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 都心部と自然がバランスよく共存 • 保育や子どもの医療、子育てに熱心 • 東日本の玄関口である • 公共の交通機関が充実している • 図書館やスポーツ施設が充実 • 商業施設が充実 • 世界に発信できる文化がある 	<ul style="list-style-type: none"> • 東日本の玄関口だが通過点でしかない • 鉄道、道路とも縦は整備されているが横の整備が不十分 • 文化的な資産が対外的に知られていない • 連想できる「食」の名物がない • 若い世代が都心部に偏り傾向 • 駅前の商業利便性に差がある • 自転車のマナー • 大災害への対策の周知 • 高齢化に伴う環境整備 • 世代間コミュニケーション
<p>必要な取組み</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 気軽に運動できる場所の整備 • 都市化を抑え、緑や文化財を残す • 個人商店、商店街の活性化 • 食文化をはぐくむ • さいたまの魅力の宣伝、広報活動 • 地域、世代間のバリアフリー化 • 道路整備（交差点、狭い道） • 市民一人一人が健康維持に努める環境づくり • 市民の「受信型」から「参加、協力型」への意識の変換 • 保育士の処遇改善による人材確保 • 自転車マナーの講習会を実施 	

《グループ 8》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 他県への利便性 • 南北に移動しやすい • 生活に便利 • 飲食店が充実 • 医療機関が充実 • 教育レベルが高い • 伝統文化が多様 • 自然、公園が多い • イベントが開催されている（コンサート、サッカー等） 	<ul style="list-style-type: none"> • 東西が行きにくい • 地域格差（交通、インフラ、生活） • 独自性、自慢できるものがない • 国際化への対応 • 高齢者人材の活用 • 観光資源が少ない • 情報発信力が低い
必要な取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> • 公共交通の充実 • 企業誘致 • 子育て支援 • 高齢者人材の活用 • 個性をいかす教育 • 国際化への対応 • 災害に強いまちづくり • 若者の情報発信力をいかす • 観光資源開発 • ボランティア活動等の支援を行う 	

《グループ 9》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> • 交通便利性 • 自然を身近に感じる • 教育に力を入れている • 歴史を感じるスポットが多い 	<ul style="list-style-type: none"> • 少子高齢化への対応 • 施設が都心部に偏っている • 教育、商業の地域格差 • 外国人との交流

<ul style="list-style-type: none"> 国際イベントをできる施設がある 商業施設の多さ 区の施設がきれいで便利 災害が少ない 治安が良い スポーツが盛ん 	<ul style="list-style-type: none"> 防災機能の充実 公共施設の老朽化 スポーツ施設が少ない 自転車レーンの整備 道路整備、区画整理
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> 交通インフラ整備 広域行政と地区行政の役割の明確化 地域での助け合いの場提供 制度の啓蒙イベント さいたま市といえば、というようなものを作る 	

《グループ 10》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> 文教都市がある 歴史文化に深い スポーツ施設が充実 スーパーアリーナによる集客 大型ショッピングセンター 物価が安く生活しやすい 公共施設の整備が進んでいる 子育て世代の住環境として人気 都心に近い 交通の便がよい（信州、東北、北陸） 緑と都市が近い 自然が残されている 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツが盛んな割に環境が少ない 名産品が無い 都市のイメージがない 地産地消が減少している 高齢化 東西の交通アクセス 市内の移動が難しい 市の良さを広める力がない
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性、観光地のPR 歴史、街並みの整備 	

- 新名物、新名所づくり
- 健康への取組み
- 地域社会のコミュニケーション
- 安心な子育て環境の提供
- ICT の利用
- 道路の整備



ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました

